

## TKC会員事務所関与先企業の親族外事業承継(M&amp;A)を支援しています(3)

## (株)TKCと(株)TBCが一体となった支援活動

(株)TKCでは、TKC会員の関与先企業様を対象とした親族外事業承継(M&A)支援の専門部署として「中小企業事業承継支援部」を設立し、中小企業のM&Aにおいて豊富な経験とノウハウを持つ(株)TBCとの業務契約締結のもと、連携した活動を実施しています。会員先生からご相談いただいた支援事例をご紹介します。

## 【支援事例3】

## 取引先からのM&amp;A提案

「関与先が、取引先である上場会社からM&Aの提案を受けた。ただ、大企業を相手に交渉を進めていけるか不安を抱いている」とのご相談がありました。

その少し前、当該企業では、現経営者が親族内承継で代替わりをした際、特例事業承継税制による特例措置の認定を受けていました。その後M&Aのオファーを受け、

特例措置の認定を取り下げても、上場会社の傘下に入ることで将来の経営をより盤石とすべくこれに応じることを決意。会員先生を通じてご相談いただきました。

さて、上場会社とのM&A(51%の株式取得)は中小企業同士の場合と異なる点があります。

その一つは企業価値評価です。

具体的には、中小企業同士の場合、純資産を時価評価の上、3年分程度の利益をのれん代として加算する修正簿価純資産法(年倍法)がよく採用されます。一方、本件は上場会社とのM&Aであるがゆえに、上場会社のスタンダードとなる収益還元法および類似会社比較法を勘案したアプローチからの評価も行い、価格交渉をご支援しました。

結果、前述の特例措置適用時の相続税評価額の実に16倍となる評価額で合意に至りました。

もう一つは、デュレリジェンス(DD)の範囲と深さです。中小

企業同士とは全くレベルが異なる

もので、想定し得るリスク全般について法務、会計等各分野の士業等専門家による調査が網羅的かつ詳細に行われました。関与先が社内の従業員等に悟られずにこれに応じることは、膨大な資料の収集・提示といった作業はもちろん、精神的にも大変負担となります。このような本格的なDDにも、会員先生と緊密に連携をとりながら全面的にバックアップし成約までご支援することができました。

M&A後、四半期決算への対応やFX4クラウドのMR設計ツールを活用して親会社が求める資料の要請にもしっかりと対応することで、会員先生の評価につながり、顧問契約も継続されたとのこと

本件のように取引先からM&Aを提案された場合でもご支援いたします。ぜひ、ご相談ください。

(TKC中小企業事業承継支援部 角園庸徳)

## 【ご相談窓口】まずは、お気軽にご相談ください！

- 株式会社TBC (旧社名：(株)Tomorrow's Business Creation)
- 代表取締役：大山 修
- 所在地：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-6ヒューリック飯田橋ビル5階
- 電話番号：03-6265-6585
- TBC駐在TKC社員：佐々木 学、中島 剛、角園庸徳、山内克展
- お問い合わせ先：佐々木 学 sasaki.mnb@tb-creation.co.jp
- TKCグループホームページ紹介ページ <https://www.tkc.jp/jigyoshokei/shinzokugai/>
- TBCホームページ <https://www.tb-creation.co.jp/>(アイ・モバイル社[BESTホームページ]利用ホームページ)

